# （１０）中学校美術部会

会　長　山﨑　源生（県立中村中）
副会長　岸本　和幸（中村西中）
事務局　尾崎　浩史（市立中村中）

## １．研究主題「豊かな感性と創造性を育て、表現力を高める造形教育」

## ２．研究経過

| 実施年月日 | 研究のあらまし | 会場 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 令和７年<br>５月７日（水） | ・四万十市教育研究会　組織総会<br>・内容「役員選出、研究主題設定、年間計画」 | 中村中学校 | ２名参加 |
| 令和７年<br>８月５日（火） | ・「免許外教員学習会」<br>・情報交換及び、生徒作品の交流・研究協議 | 中村中学校 | ４名参加 |

## ３．（１）免許外教員学習会（協議・研究）

美術の授業を免許外で担当されている、西土佐中学校の高橋教頭先生に参加していただき、美術について不明な点や悩みなどを会員で共有し解決策を探った。

①年間計画や教材について。②評価・教科経営などについてであったが、特に教材を選ぶ段階では３年間を見通した系統的な学習が必要で、同学年で同じような教材が計画されていると、バランスが取れず見直しとなる。それぞれの勤務校での経験をもとに、いろんな教材を出し合いながら協議した。以下、高橋教頭先生の学習会後の感想より。

「美術の教材についてわかりやすく一つひとつ教えていただき大変勉強になりました。それぞれの作品に着手するまえに、基礎や基本的なところをしっかりと学習し、段階を経て作品に取りかかることを学びました。今までの経験をもとにわかりやすく、ワークシートや ICT を活用したスライドを説明していただきました。大変わかりやすかったです。（後略）」

### （２）情報交換会及び教材研究

それぞれの学校における授業内容について、また１学期に取り組んだ作品を持ち寄ってそれぞれの視点から多角的に捉え評価し、お互いにアドバイスを行った。２学期からの指導・展開の助けになったと考えている。

## ４．今年度の成果と課題

外部からの講師招聘等はしていないが、美術の専門教員が一同に会し研修することで新しい取り組みの研究や情報の共有ができた。また、今年度は免許外で美術を担当している方にも美術部会に参加していただいたので、自分たちの取り組みを見直す機会にもなったし、免許外の先生の一助になることもできたのではないかと思う。反省として、日程が合わせられずに当初計画していた『高知県造形教育研究大会』に参加できなかったことがあげられる。課題は今後主流となっていく「教育ＤＸ」に対して、美術科としていかに対応していくか。昨年度と同じ３名というごく少数会員であったので、来年度は新たな会員の参加に期待したい。